

# 平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 883

政策体系	34	事業分類	ソフト事業	所管部局	企画管理部 企画推進課
会計	市バス特会	科目	1. 事業費 - 1. 事業費 - 2. 運行事 現年		
事業名	市営バス運行事業				
細事業名	市営バス運行事業				
				評価表作成者	企画政策部 交通対策室 前原 正明

## 1. 事業の概要

路線バスを運行する。

## 2. 事業の目的と必要性

- ①施策で目指す目標との関連付け  
通院、通学、買い物などの移動手段としての事業
- ②事業を実施する必要性  
運転免許を持たない方の移動手段として必要

## 3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	66,764	10,880	6,907	6,661	8,062	8,000	8,000
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	21,313	20,817	19,531	17,921	19,440	18,000
	国・府支出金	千円	63,699	9,778	6,858	7,350	7,000	7,000
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	-18,248	-19,715	-19,482	-18,610	-18,378	-17,000
職員等の従事人員	人/年	—	6.90	0.90	1.10			
人件費	千円	—	17,153	3,341	5,313			
事業費総額	千円	—	28,033	10,248	11,974			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

バス運行事業 6,660,583円

## 5. 事業結果の概要

美山園部線、京北線、日吉ダム線の3路線を実施。  
(川谷線は、スクール路線である大野線と共同路線として運行)

## 6. 活動の詳細

### 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

高齢者や運転免許を持たない交通弱者にとって生活手段として必要不可欠な事業である。また市外来訪客の移動手段としても欠かせない運行事業である。

#### 【参考】過年度の評価

##### ■平成22年度の所属長評価

平成22年3月には、山陰本線複線化（京都・園部間）開業に合わせたバスダイヤの変更を行った。運転免許を持たない方や市外からの来訪者の移動手段として不可欠な事業である。

##### ■平成21年度の所属長評価

- ②当該事業のアピール事項  
運転免許を持たない方や、市外からの来訪者の移動手段として不可欠である。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
今後においては利用実態によるバスダイヤの変更だけでなく、経営形態も含めた検討が必要である。